

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.42 (2019.9.27)

令和元年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
顧客満足(CS)と従業員満足(ES)の向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

第 57 期も半年が経過しようとしております。皆様のおかげで工事受注及び進捗の状況も期初計画どおりに推移しており、決算予測も経営方針説明会での発表に近い数字で達成できそうな状況にあります。また人材確保においても中途採用を積極的に進めており、来期に向けても新卒採用に目途が立っております。

NPO 法人建設経営者倶楽部理事長でコンサルタントの降旗達生氏のホームページに、「建設業で本当にあった心温まる物語」というサイトがあります。これは文字通り私たち建設業界で働いている人達が経験した心温まるエピソードを集めて紹介しているものです。以下の文章はそこにある「子どもの言葉に感動して・・・」というタイトルが付いたものです。

私の子どもが小学校のころ、「僕の夢はバスケットボールの選手になること」と言っていた。私は大事な一人息子なので一生懸命に応援してあげようと思っていた。中学校に入り本格的にバスケットボールに打ち込んでいた。そんな子どもを見て、本気で将来プロ選手になるのだろうかとも思うようになってきた。二年生になったある日のこと、子どもと進学する高校の話をしていたときに、「僕は、農林高校に行きたい」と言ってきた。私は、子どもの学力があればいい高校に進学できるのに…なんで農林に行きたいか理由を聞いたら、思いもよらない答えが返ってきた。「僕は、お父さんのしている仕事ってカッコいいと思う。夜は遅くて大変だろうけど、僕は将来お父さんみたいな監督になって、お父さんと一緒に仕事がしたい。だから土木系の学校に行きたい。」私は、黙ってしまった。口を開けば泣いてしまいそうだった。私は小さくうなずき、子どもの前を後にした。今、子どもは三年生になった。自分の新たな夢に向かって日々努力をしているみたいだ。私も子どもの夢を自分の夢とし、がんばっていききたい。

令和 2 年度の高校新卒者で当社を希望している高校生 2 名も志望動機を尋ねたところ、「親が建設業界で働いているので・・・」という答えが返ってきました。社員でもそのような動機で建設業界に入職した人も多いと思います。大事な事は私たちの子供が親の仕事ぶりを見てどう思っているのかということです。毎日夜遅くまで残業をしていたり、休日にも休めず運動会などの学校行事にも顔を出さなかったり、あるいは毎日暗い顔をしてばかりで家の中でも会話が少なく・・・。そんな様子を子供が見たのでは絶対に親と同じ仕事をしてみたいとは思わないでしょう。現在業界を挙げて人材確保に向けた数々の事業が行われていますが、私たち業界人の誰もができることは、まさに子供に憧れられるような姿を見せることに他なりません。「僕は、お父さんのしている仕事ってカッコいいと思う」、私たち全員が子供からこう言ってもらえるような仕事をする事は「イクボス・ワークライフバランス」に通じるものであり「明朗・愛和・喜働」の延長線上にあるものだと思います。すっかり秋の装いとなりました。寒暖差に注意して健康管理に気をつけて参りましょう。

第 4 回株式会社和賀組ゴルフコンペ



8 月 11 日恒例となったゴルフコンペが羽後 CC で開催さ

れました。優勝は日ごろの練習成果を十二分に発揮した佐藤弘樹部長でした。



秋田県優良工事表彰



9 月 2 日、第 40 回秋田県優良工事表彰が秋田県庁正庁で行われ、平良土木

部長が代理人を務めて和賀・高嶋 JV が昨年度施工した槻沢地区ため池工事が表彰されました。単独 JV 合わせて 10 回目の受賞です。

秋の交通安全



9 月 21 日から秋の全国交通安全運動が始まるのに合わせ 20 日午前湯沢警

察署にて表彰式が行われ、交通安全功労者として菅原正瑛・菜々美社員のお父様と、高橋海南社員のご祖父様が交通栄誉緑十字銅賞を受賞されました。おめでとうございます。